

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1070	同和問題啓発事業	会計	01	一般会計	
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	03	同和教育費
担当部課名	教育委員会阿山分室		細目	103	同和問題啓発事業
作成者氏名	森本勝美	連絡先	細々目	01	同和問題啓発事業
		43-0154			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
阿山地区住民等		地域住民の心の中をみつめなおす機会として“あやま人権・同和問題学習講座”を開催することにより、より確かな理解と認識が深められ、人権意識の改革ができる。それが広がり差別のない社会ができる。
本年度事業内容	あやま人権・同和問題学習講座（講演会、参加型学習等） 年間4回実施	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
	人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)	事業費(B)	217	365	365
	委託料			
	報償費	120	320	320
	その他	97	45	45
	合計(A+B)	3,097	3,245	3,245
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	3,097	3,245	3,245
上記①～③に関する特記事項				
H17年度第1回講座は、あやま人づくり市民会議との共催事業、第4回講座は、阿山人権同和教育研究協議会との共催事業であったため、講師謝金は支出していない。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
あやま人権・同和問題学習講座 参加延べ人数	回	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
あやま人権・同和問題学習講座 参加延べ人数	あやま人権・同和問題学習講座の参加者の延べ人数を指標としました。	人	532	600	600
			目標		
			目標		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

他地域に比べ人権・同和問題への取り組みは遅れていましたが、人権政策室の地区懇談会との相乗効果もあり地域住民の関心は高まっているように思われます。人権関係の研修会、講演会等に一度も来たことのない人々を来てもらえるような工夫が必要です。

評価	必要性	4	部差差別をはじめとするあらゆる差別に対する人権問題を自己の課題として受け止め、その解決のため多くの人にあやま人権同和問題学習講座を受講され、正しい理解と認識を持っていただくため、今後も地道に継続していく必要があります。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A